

## 令和5年度

### 認定こども園大谷オアシス保育園 学校評価

テーマ 『本園のチーム保育の考え方を知り、日々の保育に理解を深める』

#### 1、テーマの趣旨

今年度の学校評価は『チーム保育』について考えたいと思い、テーマを決めました。

保育・教育の現場に於いて、職員が一人でできる事には限界があります。園を一つのチームとして考えることで、一人一人の持っている知識や技量が発揮され、園全体の力量が上がったり、チームワーク良く職員間の連携が図られたりすることは大変重要なことです。しかし、チームの為に一人一人が我慢をしたり、自分の意見を抑え込んだり、ましてや『付度』することがあってはいけないと思います。立場や経験年数等で言いたいことややりたいことが制限されたり、諦めたりといったことがないように「同僚に対する責任」を果たしていくことが大切です。

人間関係は時に悩みの種ですが、やはり人は人によって喜びや楽しみを体感し、人とのつながりや信頼感が自分自身を支えていきます。それは子どもも大人も同じだと思います。十分な自己発揮と他者の受容が、より良いチームを築いていくことにつながっていくのではないのでしょうか。子どもたちは、身近な大人の雰囲気をよく見て、感じ取っています。保育現場に於いて、子ども達と共に生きる私達自身について振り返ってみたいと思います。

また、これまで同様、同一建物内にあります姉妹園と、今年度も合同で取り組むことに決め、職員間で話し合いを重ねてきました。

#### 2、令和5年度の学校評価の実施手順等について

今回実施する学校評価の実施手順等は次のとおりです。

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| ① 重点目標の設定、評価項目の設定、教職員への説明・周知 | 令和5年10月 |
| ② 学校評価委員会の開催                 | 令和5年11月 |
| ③ 教員自己評価の実施                  | 令和5年12月 |
| ④ 保護者アンケートの実施                | 令和5年12月 |
| ⑤ 園自己評価の実施                   | 令和6年1月  |
| ⑥ 学校評価委員会報告                  | 令和6年2月  |

尚、この自己点検結果は、学校評価委員会報告と共に、学園理事長に報告され、その後、概要を公表する予定です。

### 3、令和5年度の学校評価の重点目標と評価項目

#### ○重点目標

『本園のチーム保育の考え方を知り、日々の保育に理解を深める』

※本園がいう『チーム保育』とは、複数担任制とは異なり、役職や職種等の垣根なく園を一つのチームとして全教職員で全園児に関わるという保育方針のことを指しています

#### ○評価項目

- I チーム保育の考え方を理解する
- II チーム保育に適した環境を整える
- III チーム保育による保育効果を高める

### 4、点検結果—現状・課題・改善方向

#### I チーム保育の考え方を理解する

「チーム保育」に取り組んでいることを把握し、理解している職員が8割を超えている一方で、保護者の方は十分な説明がなかったが8割となり、その結果が1-3の園選びの参考とはなっていなかったことにつながっていると感じました。結果的に入園後に知ったこととなった保護者の方ではありますが、その大多数が1-4で、お子さんにとって良い結果をもたらしていると評価してくれていることは、大変嬉しく思いました。また、1-5で「チーム保育が良い結果をもたらしている」と思う点について、具体的に回答を頂いたところ「どの先生も我が子を分かってくれている」「情報共有がされている」と感じていることで、園への安心感を持って頂いているのだと感じました。

また、チーム保育を取り入れる効果として複数の目（価値感）で子ども達の姿や成長を見守ることを大切に考えてきましたが、職員からは「園児一人ひとりを色々な視点から見守ったり関わったりできる」といった意見があり、保護者からは「それぞれの価値観や考え方をもちた先生が複数の目線で保育するため、子供の柔軟性が養われるのではないかと考えています。親としても、一つの事象にしても様々な意見を頂けるのはありがたいです」と双方に意図が伝わっていることは伺えました。

しかしながら、「チーム保育」の説明が十分にはされていないこと、職員の理解も十分とは言えないという結果を踏まえ、Bと評価します。

#### II チーム保育に適した環境を整える

2-1で本園の保育・教育内容についての情報提供が十分に発信されているかの問いに対して、7割の職員が「とてもそう思う」「そう思う」と回答していますが、保護

者の方の4割近くが、「そう思わない」と回答している認識の違いを知ることができました。2-2で行事を通しての成長について情報を得る機会が「よくある」「ある」と回答を頂いた全保護者の方が思っ下さっていることから、日々の保育・教育活動やその内容について情報発信を工夫していく必要があると痛感しました。

この項目全般について、「とても感じる」「感じる」と保護者の方に高い評価をして頂けていることを有難く受け止めつつ、少数ではありますが、2-4「年齢や発達段階に応じた保育・教育」、2-5「担任以外の職員からも、お子様の園での様子を耳にするか」に対し「あまりない」と回答している方がいることを真摯に受け止めたいと思います。

現状に満足することなく、これからも職員一同で力を合わせて取り組んでいきたいという決意も込めて、Aと評価します。

### Ⅲ チーム保育による保育効果を高める

一人一人が自ら考え、どう行動したらよいかを判断し、そのことを伝え合い、対話を重ねていく中で育まれていくのが「チーム保育」であり、努力して築いていく関係性なのだと思います。園があり、それを守る為に個々が全体に奉仕するのではなく、一人一人が自身の資質能力や専門性を発揮し、同じ専門職である同僚と切磋琢磨しながら主体的に学び合う為にも、自分自身の振り返りをもとに同僚と語り合える風通しの良い職場であることは重要だと考えています。同僚へのリスペクトや相互理解が職場の雰囲気の一部を担っています。また、チームとして保育の充実や質の向上の為に努力する専門集団となることで、結果として園のチーム力を高めることになり、そのことがチーム保育による保育効果だと思います。

今回、チーム保育による保育効果を高めることについて、改めて考えたことで、保護者の方や職員の様々な思いや、悩みに触れることができました。職員が子どもたちに対しては「とてもそう思う」「そう思う」と満足していますが、3-4「チーム内で自分の得意なことなどの持ち味を発揮できていると思いますか」の問いに「そう思わない」と回答した職員が3割を超えていることから、一人一人の力を十分に発揮できる環境を整えていきたいという今後の課題が明確になったと思いました。以上のことから、B+と評価します。

### 5、最後に

今年度は、『本園のチーム保育の考え方を知り、日々の保育に理解を深める』というテーマで、日々の保育・教育を振り返りました。最初にも述べましたが、子どもたちは、身近な保育教諭（職員）の一举一動を見えています。私たちがどんなふうに人と対話し、どんな空気を醸し出ししながら、人と手をつなぎ、より良い人間関係を築こうとしているのか。様々な個性や特徴のある職員が、『子どもにとって』どうなのかという点だけはぶ

れずに共有していくことによって、多角的な目線（価値観）で子ども一人一人の個性や育ちに寄り添い、私達職員も『ともに生き、ともに育ちあう』ことを目指していきたいと思いました。

そのように努めることが、保護者の方にとっての安心感にもつながっていくと再認識しました。そして、さらにコロナ禍が明けた今だからこそ、改めて、保護者の皆様には安心してお子様を預けることのできる園である上で、子ども達の成長を一緒に見守ることのできる関係を築いていきたいです。子ども達を中心に保育教諭（職員）である私達と保護者の方、そして、地域の方も含めたみんなで、より良い保育・教育を模索し続けること。それこそが、本園が目指すチーム保育だと思いました。

最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の調査・評価にご協力頂きました保護者の皆様、評価委員の皆様方に対しまして、心より感謝申し上げます。

令和6年1月

認定こども園大谷オアシス保育園  
園長 中里 泰子